

LMcorsa

60● **H.YOSHIMOTO**● **R.MIYATA**

2019 SUPER GT Round 7, SUGO GT 300km RACE

9月21日 | 天候：曇り | コース：スポーツランドSUGO | 路面：ドライ_路温25℃

Qualifying Day Summary

シーズン最終盤の激戦となるSUGO大会の予選は
予選Q1を宮田選手が突破し、予選Q2を担当した吉本選手が14位となる
明日の決勝レースは、磨き上げたチームワークで2戦連続の優勝を目指す

Qualifying Day

2週間前に大分県のオートポリスで開催された
SUPER GT 第6戦「AUTOPOLIS GT 300km
RACE」は、LMcorsaとして記念すべきレースとなっ
た。レース中盤から後半にかけてコースの一部で雨が
降る難しいコンディションとなったが、チームは的確
なタイヤ選択を行ない、残り5周での大逆転劇を演じ
た。LMcorsaとしては2014年以来の勝利で、RC F
GT3を使用してからは初勝利となった。歓喜の後も
チームに休息はなく、大阪のファクトリーに戻りわず



か1週間ほどの時間でメンテナンスと次戦への準備を整え、第7戦が開催される宮城県のスポーツランドSUGOへ向かった。

年間8戦で競われる2019 AUTOBACS SUPER GT シリーズは2戦を残すのみとなっていて佳境を迎えている。そんな最終盤の第7戦「SUGO GT 300km RACE」は、9月21日（土）に公式練習と予選、22日（日）に決勝レースが実施される。

SUPER GT はチャンピオンシップを盛り上げるために獲得したポイントに対してハンディウエイトを搭載し、戦闘力の均等化を行なっている。第2戦から第6戦までは獲得ポイント×2kgのウエイトを搭載することになっているが、第7戦は獲得ポイント×1kgと半減される。全戦の優勝で20ポイントを獲得したため、SYNTIUM LMcorsa RC F GT3は25kgのウエイトを積んで第7戦を戦うことになる。戦いの舞台となるスポーツランドSUGOでは8月10日-11日にSUPER GTの公式テストが実施され、LMcorsaはこの2日間で152周を走行。

Qualifying Day

今戦と気候こそ違うが良いセットアップを見つけていて、チームは連続での好成績を狙うことになる。

レースウィークの公式プログラムは9時からの公式練習でスタートした。SYNTIUM LMcorsa RC F GT3には吉本大樹選手が乗り込み、まずは持ち込みのセットアップを確認。途中でコースオフした車両を回収するために赤旗が提示されセッション中断となるが、タイヤの確認など想定していたメニューを順調に消化していく。併せて決勝レースが雨予報なので、ウエットコンディションに合わせたセットアップも



実施した。吉本選手は約1時間の走行の中で6回のピットストップを繰り返し、25周を走行。1時間35分の公式練習の残り時間が25分となったところで、宮田莉朋選手がSYNTIUM LMcorsa RC F GT3のステアリングを握る。宮田選手は計13周を走行して吉本選手と同等のタイムをマークし、公式練習を終えることとなった。結果は吉本選手が記録した1分19秒220がベストタイムで、GT300クラスの28台中16位というリザルトを残した。

<予選>

GT300クラスの通常の予選Q1はエントリーした全車が一斉に走るが、コース上のトラフィックが予想されるコースでは2組に別けて競われる。コース全長の短いスポーツランドSUGOも同様の予選方式が採用され、LMcorsaはB組に振り分けられて予選Q1を戦うことになった。2組に振り分けられたGT300クラスのマシンはそれぞれ14台ずつで、上位8台が予選Q2に進出する。

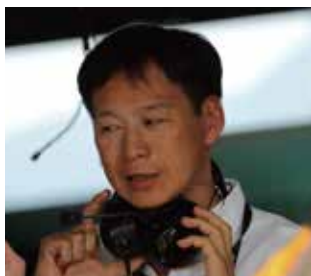
予選Q1を担当した宮田選手はコースオープンとともに走行をスタートし、3周に亘ってウォームアップをすると4周目にアタックを実施する。4つに別けられたセクターのすべてで自己ベストタイムを記録して1分18秒678をマーク。6番手で予選Q1を突破することとなった。

GT500クラスの予選Q1を挟んで行なわれたGT300クラスの予選Q2。16台のマシンがポールポジションを目指してタイムアタックを行なった。SYNTIUM LMcorsa RC F GT3に乗り込んだ吉本選手は、宮田選手と同様で3周のウォームアップの後にタイムアタックを開始。セクター1と2は自己ベストタイムで通過したが、馬の背コーナーでタイヤをダートに落としてしまいタイムをロスしてしまう。結果は1分18秒932で、14位となった。



明日の決勝レースは14番手のスタートとなるがスポーツランドSUGOは午後には雨の予報があり、ウエットコンディションはLMcorsaの得意とした状況。300kmの決勝レースでは全力で追い上げて上位入賞を目指す。

Team Comment



Director :飯田 章

スポーツランド SUGO は 8 月のテストでも良い方向性が見つかっていたので、ある程度の自信を持って挑みました。ライバル勢は予選で好タイムをマークしましたが、SYNTIUM LMcorsa RC F GT3 も予選 Q2 に進出しましたし、悲観することはない内容です。今戦は、ウエイトが半減されたこともありマシンやチームの実力が試されます。明日の決勝レースは、チームワークで好成績を収めたいと思っています。



Driver :吉本 大樹

公式練習で乗ったときからバランスは悪くなく、事前のテストで得たデータも活かしています。予選のQ2では、馬の背の立ち上がりでタイヤをダートに落としてしまいタイムロスしてしまいました。予選に向けて新たなトライをしたので、それに関しては挑戦した結果だと思っています。明日の決勝レースは雨予報もあり、ウエットコンディションでは速さを見せられると考えていますし、公式練習でも雨想定テストをしたのでチャンスが来たら逃さず戦いたいです。



Driver :宮田 莉朋

前回のオートポリスや事前のテストで得たデータを元にして公式練習に挑みました。悪くない内容ですが、それでもトップとの差があり予選は厳しくなるとしていました。予選 Q1 では、タイヤのピークグリップをアタックラップに合わせ切れなかったのですが、予選 Q2 へ進出できるタイムが記録できて良かったです。前戦も決勝レースは予想がつかない展開でしたが、今回はもっと読めないと思います。難しい状況の中でも流れに乗れば結果が出ると証明したので、明日の決勝レースでも良い戦いをしたいです。

